

発言者	内容
司会（会長）	社会科の教科用図書について協議する。 東京書籍について、いかがか。
委員	内容的には、よくまとめられている。 兵庫県の内容もまとめられている。 歴史と政治が分冊されていたのがよい。 資料が見やすく、わかりやすい。
委員	6年が分冊されているのがよい。 6年では歴史と政治を分けているので学習しやすいと思う。
委員	調査員会からの報告書通り、読みやすいと感じた。
司会（会長）	キャラクターを使っており、社会的な見方について学習しやすい。 協働学習として、グラフ作り等の活動に工夫が見られる。
委員	身近な地域として3年生で明石市を取り上げており、わかりやすい。
司会（会長）	明石は地理的にも近く、子ども身近でわかりやすい。
司会（会長）	教育出版については、いかがか。
委員	兵庫県について取り上げられている部分が少ない。
委員	思考ツールが例示されているのがよい。
委員	全体的に読みやすい。 「領土問題」では、他国の主張も示している。
司会（会長）	思考を重視している工夫があってよい。 「この時間の問い」が限定的になっているので、教科書の問いに引っ張られてしまうと感じる。 「店ではたらく人と仕事」が1学期の単元になっているため、店に調べに行くのが行きにくい。
司会（会長）	日本文教出版については、いかがか。
委員	文量が多い。 近隣市である姫路市が取り上げられているため、学習しやすい。 子どもたちは、姫路市にはよく見学に行くため、興味関心を持つという部分

	で非常によい。
委員	姫路市が取り上げられているので、興味を持ちやすい。 デジタルコンテンツが豊富でよい。 挿絵、写真等がやや大きい
委員	姫路市が取り上げられているのが、子どもたちにとって興味を持ちやすい。
司会（会長）	実際に見学に行くことができるため、姫路市を取り上げている部分は、とてもよい。 单元ごとにSDGsを取り上げている部分がよい。 やや内容量や情報量が多い。
司会（会長）	総括すると、東京書籍を1番に推薦し、日本文教出版を2番に推薦してよい か。
委員	異議なし。